

国風 盆栽展を参観して

渋谷 昭子 (高校 38 期)

上野東京都美術館で開催されている第 100 回国風盆栽展は、日曜日ということもあり、外国の方も含め大勢でにぎわっていました。



日本一の盆栽展ということで、宮内庁の盆栽をはじめ、とても大きな作品が数多く展示されており圧巻でした。やはり盆栽の王道ともいえる、真柏、黒松が多数を占めていました。4

昨年「緑雅展」で展示をしたこともあり、主木と受けなど、展示の仕方には注目してまわりました。具体的には、盆クラでも教わった、主木と受けが向かい合わせとする、主木が真柏や黒松など針葉樹の場合、受けの草物で季節を表現している様を実際に見ることができました。2月の今は、ヤブコウジ、キンズ、タンポポなど赤や黄色の実や花が受けとして使われていました。



主木については、真柏のジンや、松の荒れた幹肌に対して、緑色の力強い葉に古木ならではの風格が感じられました。われわれが盆クラでつくっている大きさからここまでするにはどうしたらいいのかを考えると途方もないように思われましたが、中村師匠からは、幹を太くするには、畑に植える、鉢上げする、剪定はそれぞれで行うを繰り返すとより早く太ることを教わりました。他にも、根張り、幹模様、ジン、枝配り、器等、様々な解説を受けながら見学できたので、とても勉強になりました。

次回の緑雅展にぜひいかしたいです。

GW の埼玉盆栽祭り、来年の国風盆栽展など、百聞は一見にしかず、ぜひ皆で行きたいですね！